

はぐくむ

10 2020.3 vol.10

飯田市教育委員会
がお届けする
子どもを
はぐくむ情報誌



ガラス越しの野生

尾澤 祐奈さん 高陵中 3年生



美しい紅葉と伊那路

小野寺 脩さん 伊賀良小 5年生

令和元年度
藤本四八記念
小中高生写真賞
受賞作品より



二人の影

伊藤 芽依さん 上久堅小 3年生



未来へ向かって

熊谷 成珠さん 伊賀良小 6年生



葉っぱがういた!超能力!?

盛 結香さん 鼎小 3年生

飯田市 教育ビジョン

地育力による
未来をひらく
心豊かな人づくり



春を待つ

佐野 園さん 飯田西中 3年生



りんごは渡さねえ~!

一 歩さん 竜東中 2年生

特集

全国に評価される 飯田市の確かな取り組み

飯田市の地域と協働した小中学校の様々な活動は全国でも高く評価され、今年度、文部科学大臣賞や博報賞を相次いで受賞しました。飯田コミュニティスクールを通じてこうした活動が今後一層に活発となり、子どもたちの豊かな学びにつながっていくことを期待いたします。

飯田東中学校

～「時代を超えた恩返し」被災地へのペットボトルキャップ支援～
令和元年度リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰文部科学大臣賞受賞

平成6年に始まった東中のリサイクル活動は、東日本大震災を機にその内容が変わりました。「飯田市も、かつての大火で市の大半が焼失し、東中も校舎を失った。その時の全国の方々からの寄付や励ましの言葉を想い、今、自分たちにできることはないか」と当時の校友会は考え、「時代を超えた恩返し」を合言葉に、被災地支援活動として新しく動き出したのです。

東中の学校目標の一つ「愛他」の精神である「みんなと喜びや悲しみを分かち合い、相手の立場に立って心をつくすこと」にも沿った活動として、現在でも「リサイクル」と「被災地支援」の2つの意義を持ち取り組まれています。活動を知った地域の方々や事業所からも、アルミ缶やペットボトルキャップが届けられるなどの後押しをもらっています。



遠山中学校



～地域の持続可能性を支える神楽舞の継承～

第50回博報賞（日本文化・ふるさと共創部門）受賞

遠山中学校では、国指定重要無形民俗文化財「遠山の霜月祭」の神楽舞を継承する取り組みが、地域の保存会の方々の全面的な協力のもと40年間続いています。

前身校の1つ旧上村中学校で昭和54年に始まったこの取り組みは、平成21年の新遠山中発足後も特色ある学校活動として引き継がれ、現在では、遠山地区の各神社で12月に行われる「霜月祭」の担い手を育てるだけでなく、地域の持続可能性を支える大切な役割を果たしています。受賞にあたっては、総合的な学習の時間において地域の方々の献身的な協力を得ながらESD（持続可能な社会のための教育）を充実させた点も高く評価されました。

座光寺の 子どもを語る会

～地域で座光寺の子どもを育てる学校・保護者・地域の集い～

令和元年度「地域学校共同活動」推進に係る文部科学大臣賞受賞

「座光寺の子どもを育てる会」の機運から、平成21年に「座光寺の子どもを語る会」が地域で開催。連絡会（のちの推進委員会）も発足し、保育園、小・中学校、保護者や子どもに関わる地域住民が定期的に集い、会の企画や園・学校、地域の話題等を共有しています。

学校からは「地域が身近に感じられ、とても良い環境で学習ができている」との声が聞かれ、学校支援に関わる人は「子どもたちの笑顔が見られ、元気をもらっている」とやりがいを感じるなど、お互いに良い影響を与えながら協働して子どもの成長を支えています。学校、保護者、地域の「共通のねがい（ねがう子ども像）」がこれらの活動をスムーズで活発なものとし、学校内外で地域の様々な大人と子どもたちとの交流が図られています。



竜東中学校

～「希望の花壇は消えない光」地域と一体となった花壇づくり～

フラワーブラボーコンクール文部科学大臣賞受賞

中学統合で竜東中学校となった昭和47年、PTAで学校花壇を設置。翌年には各家庭の畑や花壇の優良な土を生徒達が持ち寄りメイン花壇が完成。以来、脈々と活動は継続されています。

種をまき、苗を育てるところから始まる花壇づくりでは、花壇のテーマやデザインを生徒達が自ら決定します。定期的な種まきや定植の時間のほかにも、ボランティアによる草取りも行われ、多くの生徒が参加します。メイン花壇に加え、学年花壇やPTA、同窓会の花壇が秋には中庭を彩り、来校者を楽しませます。また、地区ごとに定植する地域の花壇でも、生徒達も夏休みの水やりなど、地域と関わりながら花を楽しみます。経済面、奉仕活動等、地域の方々からも多くの支援の上に成り立つこの活動は、「希望の花壇は消えない光」と生徒会歌にも歌われる竜東中の宝であり、誇りをもって全校で取り組んでいます。



緑ヶ丘中学校

～一人一人の興味関心から個性を伸ばす。創造するものづくり～

第40回ホームソーイング振興最優秀校賞（文部科学大臣賞）受賞

第20回木工チャレンジコンテスト全国大会文部科学大臣賞受賞

緑ヶ丘中学校の技術・家庭科部は、地域の方々の指導による正確な技術習得と、ものづくりの楽しさを基盤に、自分らしさを大切に活動しています。

技術部は、長野県中学生ロボットコンテストやエコマイレッジチャレンジ（鈴鹿サーキット）、エコマラソン長野大会、木工チャレンジコンテストなどの大会に積極的に参加し、毎年優秀な成績を収めるほか、地域からの依頼を受け、イスやベンチ、本棚も作成しています。家庭科部は、季節のお菓子や旬の食材を使ったおかずの調理、ミシンでのワンピースやTシャツ、布の小物やインテリアの製作など、部員で話し合いながら毎日の活動を楽しんでいます。

このように工夫して作りあげた作品を、長年継続して、作品コンクールに応募してきました。継続した作品と技術の積み重ねによる正確な作品の仕上がりが評価され、技術・家庭科の両活動ともに受賞にいたりしました。





春休みは、日常に比べて特に大きな危険が2つあります。

01 危険な出会い

春という季節柄、毎年のように危険な出会いによる被害があります。きっかけは、ゲームやSNSで知り合った人と安易に会ってしまうことです。ゲームもSNSも同じ興味や考え方を持つ人が集まるので、ネット上の単なる知り合いではなく、友達という感覚に陥ってしまうからです。

<対策>

- ゲームもSNSでも単なるネットだけと考えて、見ず知らずの人と安易に友だちとして繋がることはやめましょう。
- 会うことはもちろん、ネット上での連絡先の交換はしないこと。
- ゲームでもSNSでも、自分が分かってしまう個人的な情報は絶対に書かないこと。特に、動画や写真には、多くの情報が付いています。絶対に投稿しないこと。

02 長時間利用による依存

ゲームもSNSも一度参加したら、自分でやめたくともやめられない仕掛けとなっています。自由な時間が多い春休み中は、春休みだからと利用しているとネット依存に陥ってしまいます。学校が始まっても治らず、日常生活に支障をきたします。

<対策>

- 学校のある時と同じ時間帯での利用にしましょう。
- 利用時間を決めたら、保護者に制限機能を設定してもらい、時間でやめられる環境下で利用しましょう。
- スクリーンタイムなどの本体設定や安心フィルター、各ゲーム会社等で提供されているサービスを利用しましょう。

ネットは閉じている世界ではありません。ネットを利用する上での3つのNO!をしっかりとってください!

- 1 ネット上には、感情を書き込まない!
- 2 ネット上には、個人を特定できる情報(写真など)を投稿しない!
- 3 自身が確認できるもの以外は、他人に回さない!

※大切なことはネットではなく、顔を見て話すことです。そして、どんな些細なことでも相談するのは、保護者や先生という信頼できる身近な大人に顔を見て相談しましょう!

子どもの体力をめぐる課題

ゲームやスマホの影響により外遊びの時間が減り、車での送迎も当たり前になった現在では、児童・生徒の体力が、親世代にあたる昭和60年頃のピークに比べて低下をしています(データ①)。子どもたちの体力が向上するためには、「運動が好き」になることが大切です(データ②)。そこで、飯田市では、日課としての「一校一運動」や、運動会・生徒会行事での大縄跳びや全校リレーなど、楽しんで体を動かす活動を積極的に取り入れています。

とはいえ、学校だけでは限界があります。家族でスポーツ観戦をしたり、家族団らんの時にスポーツの話題が多い子どもの体力は高いというデータがあります。親のスポーツへの認識が、子どもの体力に大きな影響を与えます。

親子で一緒に楽しく体を動かしながら、たくましい子どもたちをみんなでハグ(Hagu)くんではいけませんか。

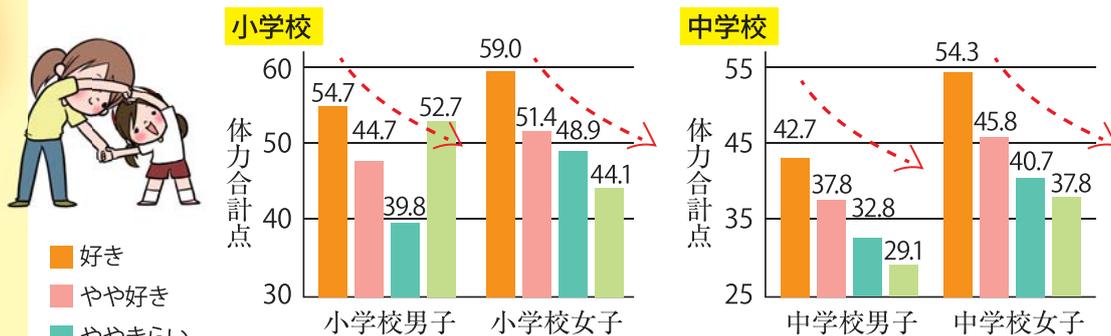
データ① 全国体力テストでみる昭和60年と平成30年の比較

| 小5男子 | 50m走 秒 | ボール投げ m |
|------|-----------|------------|
| S60 | 9.05 | 29.94 |
| H30 | 9.37 | 22.14 |

| 中2男子 | 持久走 秒 | ボール投げ m |
|------|----------|------------|
| S60 | 366.40 | 22.10 |
| H30 | 392.72 | 20.49 |

女子についても同様の傾向

データ② 体力テストの合計得点と「運動の好き・嫌い」の関係(飯田市)



運動が好きな児童・生徒ほど、体力が高い傾向にあります。



コラム



飯田市教育長 代田 昭久

中学校の部活動等の新しい在り方 (Vol.1)

1

飯田市教育委員会は、部活動が、心身の成長過程を踏まえ、より合理的で効率的・効果的な活動になることで、生徒の心身の健やかな成長と生きる力が育まれることを願い、活動の見直しを進めています。1月には放課後部活動オフ期間を試行、9月からの新体制に向け、随時情報を共有してまいります。

飯田市教育委員会

I. 見直しの背景

市内中学校を対象に実施した調査では、「部活動」と「部活動の延長としての社会体育(※)」を合わせると、運動部は、平均して年間 665 時間の活動が行われています。部活動の教育的な効果は大きい一方で、一部過熱化する活動による生徒の心身の疲労や、運動部への加入率の低下などの課題を抱えています。

※ 運動部活動と同様の活動が部活動と連続または近接して行われ、運動部活動と同じ部員・指導者によって構成されているもの。運動部活動の保護者会が主催者であったり、地域のスポーツ指導者等が運営主体であるなどの形をとることが多い。

II. 放課後部活動オフ期間の生徒の様子

本年9月からの新しい部活動の体制への移行【裏面参照】にあたり、1月は1か月間、平日の放課後部活動と延長としての社会体育・延長部活をオフといたしました。このオフ期間の直後に対象生徒全員へ行ったアンケート(1601名から回答)結果の一部や、全市型競技別スポーツスクールの様子をご紹介します。

◎自由記述欄で、オフ期間は必要・不要と記載した生徒はほぼ同数で、全体の約2割。(以下、抜粋)

① オフ期間は必要 (347名)

- 自分の時間が増えて、今までやろうとしていてもできなかったことができた。朝もすっと起きられ、1月は皆に対して優しく接することができた。
- 今までは宿題のやる気がおきなかったが、この期間ははかどった。
- このままの方がいいと思った。趣味や自主トレーニングなどをゆっくりできるから。
- 時間を計画的に使えて休める時間も増えて良かった。
- 勉強に集中できるし、家族の時間も増えたので、オフ期間の方が良い。
- 妹と一緒に時間が増えて嬉しかった。なんで自分は部活に入っているのだろうと思うときが増えた。
- 最高だった。これからずっと放課後はオフでいい。
- やる時はしっかりやって、休むときはしっかり休んだほうがいい。

② オフ期間は不要 (319名)

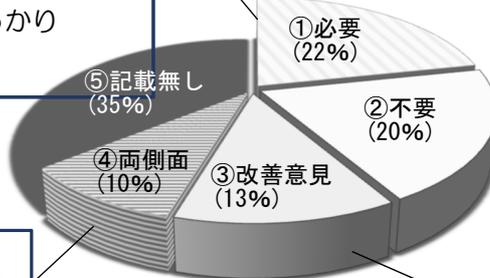
- 部活がストレス発散の場で気持ちを落ち着かせるので、部活がないと疲れが残ってしまう。
- 中学の部活は一生に一度なので、朝も含め沢山練習してもっと強くなりたい。
- 中体連まであまり時間がないのに練習がないのはあり得ない。
- 今まであったものが無くなってしまうと生活リズムがおかしくなってしまう。
- 部活やりたすぎて、うずうずしまくった。
- 飯田市だけ無くすと他のライバル校だけが強くなって不公平。
- オフ期間にしても変化は無かったし、スポーツスクールがある種目と無い種目で不公平。

③ 改善意見 (208名)

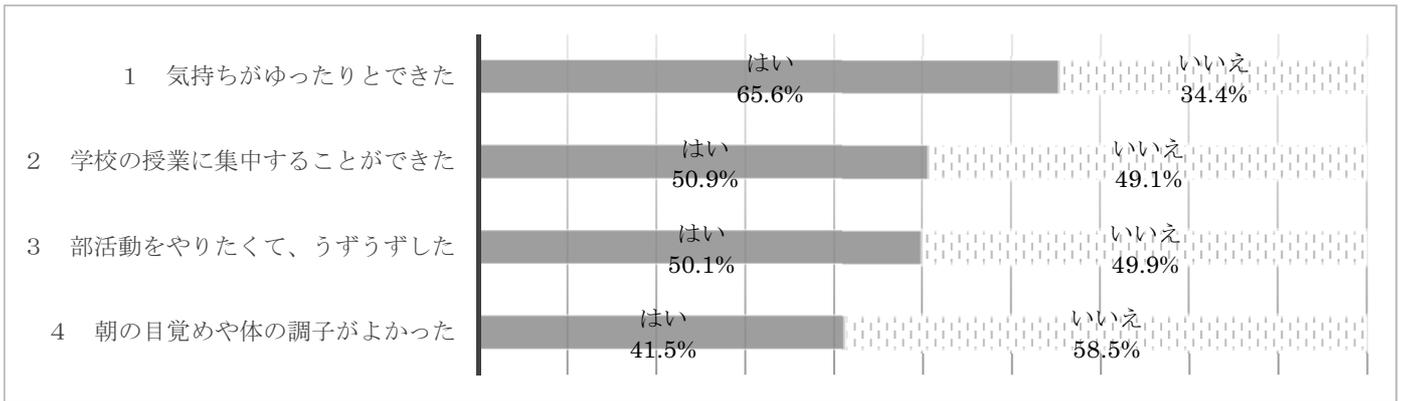
- 放課後ではなくて朝部活をオフにした方が良い。
- 土日はどちらかの一日だけとして、延長部活動の時間も短くすべき。
- 地域のクラブチームとして練習できる環境がほしい。
- 平日が全くオフではなく、一日くらいは練習すべき。

④ 良い面も悪い面もあった (154名)

- 色々な活動ができたのはよかったが、時間の活用効率が悪くなった気もした。
- 「部活をやりたい」との気持ちも出てきたが、体をしっかりと休められた。
- 自由な時間が増えて良かったが、部活がないと体がなまり、競技の感覚も鈍り、肥満にもなりそう。



◎気持ちや体調の変化については、約3人に2人が「気持ちがゆったりとできた」と回答し、「学校の授業に集中することができた」「部活動をやりたくて、うずうずした」はほぼ半々。



◎スポーツ活動を望む生徒や、新たなスポーツ種目への取り組みを目指す生徒のため、県内に拠点を置くプロのスポーツ団体や競技団体が主体となるスポーツスクールを開催し、のべ約600人の生徒が参加。

◆ 8種目 12のスクール

バレーボール、バスケットボール、スキー・スノーボード、サッカー、空手、陸上、硬式テニス、コーディネーショントレーニング

◆ のべ約600名の参加

【参加者の感想】

- 普段できないスポーツができて良かった。
- 他の学校の生徒と交流できて良かった。
- 細かいところ、コツを教えてくれ、大人数ですごく楽しかった。
- 新鮮な練習方法で、これからの自主練習も楽しくなりそう。



信州ブレイブウォリアーズ、齋藤洋介アンバサダーとのサインに記念撮影

3x3の東京オリンピック選手候補にも挙げられていた齋藤洋介選手と試合形式の練習も行い、会場は大盛り上がりでした。



サッカースクール



スノーボードスクール(治部坂高原スキー場)

Ⅲ. 今後の展開

2020年9月から飯田市の部活動が変わります！

～ 「飯田市中学校部活動の活動指針」(令和2年3月改定、9月施行)のポイント～

- ✓ 部活動の1日の活動時間は平日で長くとも2時間程度、休日で3時間程度とし、部活動の延長として行われている社会体育(文化)活動は廃止します。効果的・効率的な練習を目指します。
- ✓ 平日は、各校で定められている完全下校時刻に下校します。

ただし、新人大会や冬季に開催される重要な文化的行事の前4週間には特例もあります。

保護者の皆様におかれましては、1月の放課後部活動オフ期間に関するアンケートにご協力下さり誠にありがとうございました。約700通の、頂いた様々なご意見を踏まえ、また、生徒の意見もしっかりと聞きながら、生徒の活動が一層充実するよう、今後も関係する方々と連携して検討を進めてまいります。皆様のご理解とご協力の程、何卒よろしくお願いいたします。